

就労準備型放課後等デイサービスこすもすカレッジ小金原教室

保護者評価表

職員評価表

自己評価総括表

公表日 2026年3月31日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	7			中学生にとっては少しせまいような気がします。	限られたスペースの中で偏りが出ないようお子様の様子を見ながら必要に応じて声掛けをしています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	30						
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	4		1			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29			1			
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28	1		1			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30						
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28	1		1			
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等サービスカイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	2					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	1					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	9	1	10			
	保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30					
		13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	1				
		14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	6		2		
		15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	29	1				
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		28		1	1			
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		29	1					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		14	8	2	6			
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。		25	3		2			
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。		27	3					
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。		29	1					
非常 時 等 の 対 応	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30						
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	5	1	3			
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	3		6			
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	2		2			
26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	3		3				
満足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	30						
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	29	1			いつも楽しんで利用させていただいています。様々なカリキュラムがありとてもためになっています。	今後子ども達に楽しく安心して利用していただけるよう努めてまいります。	
	29 事業所の支援に満足していますか。	29	1			パソコンのカリキュラム、お出かけイベントを増やしてほしいです。子どものことをよく見て理解してくださっていて、様々な職種の先生方もおられ心強く、嬉しく思っております。	皆様のご意見を伺いながらカリキュラム立案をしてまいります。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2		広く使えるよう環境調整をしていきたいです。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	5		物が多いため整理が必要だと思えます。事務室前に段差があります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	5		床を貼り替えたいです。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	3		十分なスペースが確保されているわけではありません。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	6	2		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	運営会議が行われています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	7	社内監査が行われています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1		午後から出勤される非常勤職員さんにも共有していきたいです。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	3		やっているが充分ではないため改善したいです。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	現場リーダーを中心に相談しています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		同じタイトルでも内容や担当者を変える工夫をしています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		朝の申し送りでも細かく確認するようにしています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1		気になることについて職員間でコミュニケーションを図ることはできていますがさらに深堀していきたいです。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを判断し、適切な見直しを行っているか。	8				
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8				
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	8				
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	7	1		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2		
	28 学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	5		主に中学生から利用されるので就学前の事業所とのやりとりはありません。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	3		
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3		行ったことがなく対応方法が知りたいです。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5		行ったことがなく対応方法が知りたいです。

関係機関や保護者との連携	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	5	主に管理者が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4		行ったことがなく対応方法が知りたいです。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	2		共有はしているので再発防止策をさらに検討する必要があります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1		

○事業所名	就労準備型放課後等サービスこすもすカレッジ小金原教室		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日 ~ 2026年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 30
○従業員評価実施期間	2026年2月1日 ~ 2026年2月28日		
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月26日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意図的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容が固定化されておらず、子どもたちの興味やその時々状況に応じて、柔軟に活動を組み立てている。	一人ひとりの特性やニーズを踏まえながら、企画立案に内容を調整することで、無理なく楽しく取り組める環境を整える。また、提供する活動の種類が多岐であり、運動・創作・調理・社会体験など、様々な視点からプログラムを考案・実施している	今後も子どもたちの「やってみたい」「できた」を大切にしながら、より一人ひとりに合った支援を目指している。スタッフ間の情報共有を強化し、活動の質と安全性を高めていくとともに、保護者との連携や地域とのつながりも深め、より多様な体験の場を提供していく。
2	就労準備に向けて、スタッフが就労継続支援事業所等の見学を行い、その作業を活動で行う。実際に作業所に見学に行く等就労に向けての実用的な活動内容がある。	実際に子どもたちが作業所の見学に向く機会も設け、将来を具体的にイメージできるよう工夫している。	活動の振り返りや自己理解を深める機会も設け、子どもたちが自身の選択肢を具体的に考えられるようサポートしている。
3	保護者の方や利用者様の要望・希望を丁寧に受けとめ、日々の活動内容に反映させるよう心がけている。	活動の中で得られた声をもとに内容を調整したり、新たなプログラムを取り入れることで、安心して参加できる環境づくりを行っている。	面談などを通して、より多くの声を拾い上げ、支援の質を高めていく。保護者との連携しながら、個々の目標に合わせた支援計画の見直しや、活動の幅の拡充にも取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や保護者参観の実施により保護者同士の交流の機会を設ける	昨年に引き続き保護者様にご参加いただくイベントを企画したがご家庭ご都合もあり参加できる方が限られてしまっている。	できるだけ多くの保護者様のご希望に添えるよう日程を調整しご参加いただく機会を増やしていく。 また開催した際にはsnsを活用し広く周知していきたい。
2	地域の場の活用や地域住民(子ども)との関わり	土曜日や長期休暇には地域のイベントへの参加や公共施設、公園、店舗の利用等、地域との交流が図れているが、平日の支援では地域の場の活用や子ども達と交流する機会が提供することが難しいこと。	平日においても、可能な限り(下校時間が早い時等)公共施設を利用し、地域の場の活用や地域の方との交流を増やしていく。地域のボランティア団体などの受け入れを行っていく。
3	地域自立支援協議会等への参加	自らが地域の中の社会資源であるという意識と多職種連携・地域連携の必要性について把握し日々の業務を行っていくこと。	地域にて開催されている自立支援協議会に参加することで多職種連携・地域連携できる体制を整えていく。 参加した際には情報共有を行うこととともに、業務を通して見出される課題を報告し合い地域課題への解決に向けた取り組みを進めていく。